

# 2024 年度事業計画

社会福祉法人 神戸聖隷福祉事業団  
施設名 真生園  
施設長 近藤 咲美

## 真生園の基本方針

1. 安全で安心できる快適な生活の場や活動の場となる為の充実したサービスを提供します。
2. 互いに交わす挨拶に笑顔を添え、同じ目線に立ち温かいまなざしと優しさで支援します。
3. 利用者一人ひとりの個性や人権を尊重し、誠意をもって支援します。
4. 地域に愛され、地域と共に歩む施設を目指します。
5. 愛と希望に満ちた温もりのある施設づくりを目指します。

## 第5期中期計画のビジョン

障害福祉サービスをリードする施設として、ご利用者と地域の期待に応えていきます

### 2024 年度の事業計画について

第5期中期計画の2年目がスタートいたしました。昨年の上期に、新型コロナのクラスターにて約1か月半のゾーニング対策や、多くのご利用者・職員が感染する事案があり、感染症対策に迫られた1年でした。今年度こそは、昨年度実施できなかった計画を継続しつつ、ご利用者の地域参加や外部講師・ボランティア、家族面会などの交流再開や緩和に向けて、積極的に施設として目標を定め計画を策定いたしました。

学習と成長の視点として、昨年2月に入職された外国人職員2名の方の、さらなる育成として、日本語検定N3の取得や、介護記録作成等の研修等へ参加していただき積極的に育成していきます。また、職員個々の課題を把握し、課題に即した研修参加を実施します。

業務プロセスの視点として、職員数減少により、日中・夜間の職員配置の見直しなど、ご利用者へのQOL低下にならないように、より生産性向上を目指し取り組みます。

顧客の視点として、令和6年度の障害福祉サービス等報酬改定に則り、個別支援計画書等の書式の追加・更新を実施いたします。また、利用者ニーズの高い外出支援等に取り組みます。

財務の視点として、積極的に定員の確保を目指し、今までより広範囲での利用者募集を実施します。また、法人内施設との連携を密にし、他施設からの入所希望があれば積極的に受入れます。その他に、優先順位を考慮した施設備品の購入・故障等の修繕やコストダウンを実施し、出来る限り支出を減らす取り組みを実施します。

### 事業概要

開設年月日：1978年5月10日

種別	事業名	定員	主たる対象者	事業開始年月日
障害者支援施設 (第1種)	施設入所支援	60名	身体障害者	2008年4月1日
障害福祉サービス事業 (第2種)	生活介護	60名	身体障害者	2008年4月1日
障害福祉サービス事業 (第2種)	短期入所	4名	身体障害者	2006年10月1日
公益事業	日中一時支援	5名	身体障害者	2006年10月1日
公益事業	真生園診療所	—	—	1979年4月1日

## 2. 第5期中期計画と推進策

### (1) 学習と成長の視点

重点実施項目	実行計画	2024年度計画	目指す成果
外国人支援員の育成	計画的な人材育成	①利用者ごとの特性(障害、急変時の対応)を理解 ②サブ担当制導入 ③記録・報告書作成指導 ④語学研修(オンライン) ⑤業務の振り返りシート作成	・単独夜勤を可能 ・個別支援の理解 ・各種記録作成、提出 ・コミュニケーション能力向上 ・次期受入検討と育成プログラムの作成
専門研修と内部研修(伝達研修)の実施	階層別の研修参加と伝達研修の実施 事業所見学	①外部研修参加 ②委員会計画による内部研修実施 ③職員会議・朝礼での伝達研修 ④法人QOL介護研修の実施	・介護技術、見識の向上 ・法定研修の実施 ・伝達力を身に付ける ・人材資源の活用
計画的な資格取得	専門資格取得者(介護福祉士、サビ管、相談支援吸引等)	①介護福祉士資格取得(1名) ②サービス管理責任者(1名)	・介護技術に基づく利用者支援 ・個別支援計画策定力を高める
キリスト教福祉を通じた人材育成	理念学習会等による接遇向上	①理念に基づいた接遇研修実施(2回) ②海外研修へ参加	・理念理解 ・接遇向上

### (2) 業務プロセスの視点

重点実施項目	実行計画	2024年度計画	目指す成果
支援の生産性を高めるプロジェクトチームの継続	委員会の定期開催と年間テーマに基づいた実践	①現状業務課題の抽出・改善策の実行	・業務の見直しによる支援の質を高める ・利用者が安心出来る支援の提供
各マニュアルの更新・周知方法の確立	紙面とデータ化による支援基準を明確にする	①各種マニュアル・仕様書のファイル化と更新	・統一した支援 ・支援者が必要な情報を閲覧可能

重点実施項目	実行計画	2024年度計画	目指す成果
旧さくらの苑・单身寮の維持管理	既存施設を活用し、感染症・災害や職員確保に役立てる	①旧さくらの苑を、面会場所として活用 ②单身寮の清掃・老朽化所の修繕	・家族面会等の実施 ・新採用外国人職員の住居として活用

(3) 顧客の視点

重点実施項目	実行計画	2024年度計画	目指す成果
個別支援計画に基づく支援	個別支援計画の職員周知 計画書一式の見直し	①目標一覧の掲示と周知 ②個別支援計画書等の様式の見直し(生活介護利用時間等)	・目標と計画に基づく支援の達成
快適な居住環境整備	利用者ニーズに合わせた老朽化備品の更新	①環境委員会による課題抽出と対策 ②衛生的な居室整備	・整えられた住環境で利用者が生活出来る
事故発生防止委員会の強化による事故防止	委員会の定期開催と再発防止システムを構築する	①事故の対策を多方面から行う書式の変更 ②委員会での前回事故の振り返り、職員会議報告 ③リスク対策研修(2回) ④介護技術研修受講	・同類事故の再発防止 ・事故対策の強化 ・対策の振り返りと周知 ・安全な介護の提供
運営委員会・懇談会の体制整備	利用者と共に自治会組織の体制整備を行う	①運営委員会開催 ②発言し易い懇談会の形を利用者と作る ③自治会の再編を協議	・利用者参加の施設運営 ・利用者の要望を聞く機会の増加
家族との情報共有と連携	家族会・行事を通じ連携を維持する	①家族会と利用者代表との関係継続 ②施設行事を通常開催 ③利用者の日常の様子をホームページに掲載	・家族会と利用者代表との面談実施 ・施設年間行事に家族会が参加

(4) 財務の視点

重点実施項目	実行計画	2024 年度計画	目指す成果
利用定員確保よる給付費収入の維持	関係機関・市町村へ情報提供を行い利用希望者の募集をする 身体機能低下による区分見直し	① 利用者の確保(新規6名)と収入確保 ②区分の見直しを実施 ③施設間連絡会を開催 ④関係機関へ利用案内活動を行う	・ 予算通りの収入を確保する ・ 平均区分を上げる
施設設備の老朽化対策	老朽化設備の更新	①必要な修繕のみ実施	・ 修繕による支出を減らす
予算に沿った計画的な積立	確実な積立を行う	① 支出の確認と経費削減に取り組む	・ 支出の削減と確実な積立の確保 ・ 水道光熱費等を毎月確認と報告、経費削減の周知
外部事業所と連携し利用者の短期・生活介護事業の相互利用の強化	施設案内・説明会を実施	①説明会資料の作成 ②通所事業所への渉外活動	・ 在宅者への情報提供 ・ 関係機関との連携強化 ・ 給付費収入の維持

(5) 地域公益の視点

重点実施項目	実行計画	2024 年度計画	目指す成果
ボランティア・社会資源の活用	外部資源(人材)を活用し利用者の活動に繋げる	①ボランティア、外部サービスを日中活動へ導入 ②オンラインを活用した外部との交流(施設間等) ③訪問事業、移動販売の拡充	・ 日中活動の充実 ・ 交流機会の提供 ・ 外部サービス利用
利用者の社会参加と交流	地域と定期的に交流出来る場を設定する	①作品展へ出展 ②他施設と協同し市内の作品展へ出展 ③創作活動をホームページに掲載 ④福祉体験学習に利用者に参加 ⑤他施設見学、情報収集	・ 地域への情報提供 ・ 意欲を高める創作活動の場を提供 ・ 社会参加の実感 ・ 家族が施設の様子を知る

重点実施項目	実行計画	2024年度計画	目指す成果
施設独自のサービスを提供する	施設サービス・設備等の提供を行う	①在宅での入浴が困難な方のニーズを探りサービスに繋げる	・施設設備を提供する (生活介護・短期サービスの利用)
ホームページによる情報配信の強化	ホームページの更新、機関紙の発行	①ホームページの更新(2ヶ月毎) ②レイアウトを検討し機関紙を発行(2回)	・情報発信